



つくば市イメージ
キャラクター
フックン船長

もっと知りたい!

つくば市

第9号

ばん

かわら版

今回のテーマは、
動画でも連動して
お知らせしています!



つくば市長 五十嵐立青

2022年5月16日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ つくばスーパーサイエンスシティのこと、もっと知りたい!

つくば市は、4月12日に「スーパーシティ型国家戦略特別区域」として国から区域指定されました。この指定によって法律の大胆な規制緩和が可能となり、これまで難しかった、日常生活のさまざまな分野で先端的サービスを提供できるようになります。市民の皆さんにとってより快適で便利な暮らしを実現していく上でとても大きな一歩であり、「誰一人取り残さない」まちづくりの大きな力となります。今回は、つくば市版スーパーシティ「つくばスーパーサイエンスシティ構想」の主な内容を紹介しつつ、皆さんの困りごとをどのように解決し、どのように生活が変わっていくのかについて紹介していきます。

問 スマートシティ戦略課

ギモン

01

つくば市が選ばれた「スーパーシティ」って、何?

また分かりにくい言葉が出てきたけど、「スーパーシティ」って何なの?

そうですね、分かりにくくてごめんなさい。簡単に言えば、皆さんの「困りごと」を、先端技術を使って解決する未来のまちのことです。人工知能(AI)を搭載したお掃除ロボットが自動で部屋を掃除してくれたり、新型コロナウイルスのワクチンを開発したり…。身近なことから世界共通の課題まで、さまざまな「困りごと」がAIなどの先端技術で解決される時代になりつつあります。つくば市でも、先端技術を使って、市民の皆さんがより快適で便利な生活を送れる社会を目指し、これまでさまざまな取り組みを進めてきました。ただ、法律などの壁が高く、皆さんに実際に利用してもらうのは難しかったんです。そんな中、「自治体の皆さん、特別に法律などを緩めて先端技術をすぐに使えるようにする制度を作ったので、その区域になってみませんか」という募集が国からあったんです。これこそつくば市が求めていた制度だ!と、迷わず手を挙げました。そうして今回選ばれた提案が「つくばスーパーサイエンスシティ構想」です。

「困りごと」って、例えばどんなこと?

さまざまな「困りごと」があります。つくばエクスプレス沿線部では子育て世帯が増えている一方で、周辺部では高齢化が進んでいます。また、研究学園都市であるつくば市では、国内外からの多くの研究者や大学生、留学生も暮らしています。皆さんそれぞれの切実な「困りごと」の声を聞いてみると…。

高齢者	免許証を返納してから 通院や買い物が大変…
子連れだと 公園に行くのも一苦労…	子育て 世帯
学生 (大学生など)	車がないから 駅・学校の移動が大変…
日本語が苦手で、 必要な情報が分からない…	外国人

これらのさまざまな「困りごと」を「つくばスーパーサイエンスシティ構想」でどう解決するか、次ページでご紹介します。

つくば市



次はつくばスーパーサイエンス
シティ構想の内容を紹介するよ!

ギモン 02

「つくばスーパーサイエンスシティ構想」では、どんなことをしていくの?

「困りごと」を解決する方法なんてあるの?

実は、あるんです。まず、周辺部に住む車を運転できない高齢の方が病院に行く場面を考えてみましょう。バス停まで「移動」し、バスの到着を「待って」乗車し、場合によっては「乗り継いで」、病院に着いたら「受け付け」をし、診察を受けたら「支払い」をし、薬をもらって、またバスを「待って」やっと帰宅…。つくば市は広いので、通院にもかなりの時間がかかります。でも、スマートフォンのアプリでタクシーを呼び、車内で病院の受け付けや支払いまでできちゃうとしたら…とっても便利になりますよね!

本当にそんなことできるの?

この仕組みを、市では「医療MaaS」と呼び、実現に向けて検討を進めています。病院の時間に合うように乗り合いタクシーを予約し、乗車時に顔認証などの簡単な手続きで受け付けが済むので、病院でも待たずに受診できるんですよ。他にも、自宅からオンラインで医師に相談し、薬をドローンや移動スーパーで配送してもらうという、そもそも移動しなくてもよい方法もあります。夢物語のように思えるかもしれませんが、実は個別の技術的にはほぼ準備ができています。スーパーシティに指定された今、法律の壁を超えて、それらの実現に向けて取り組みを加速させていくことができるようになったんです。

※MaaS…出発地から目的地までの移動に最適な交通手段の検索や予約・支払い、さらには病院や行政サービスなどの予約・支払いが、スマートフォンのアプリなどで一括できるサービス。

でも、スマートフォンを使える若い人しか結局サービスを受けられないんじゃない?

いいえ、そんなことはありませんよ!実は、手始めに小田と宝陽台をモデル地区として、移動スーパーの位置をスマートフォンで確認できたり、移動スーパーの場所まで自動運転で行けたりする取り組みを進めていく予定です。この2地区は高齢化率が高く、スマートフォンを持たない方も多く住んでいます。そこで、そうした方々にスマートフォンを貸し出したり、使い方を学べる講習会を開いたりして、どの年齢層の方にもスマートフォンを身近に感じてもらえるようにする取り組みを考えているところです。そのほか、大学生や、既に使い方をよく知っている地区の高齢の方などに使い方を教えてもらうことで、世代間交流やコミュニティ活動が活性化するのはないかと期待しています。

他にはどんなことをするの?

例えば選挙のとき、今までに困ったことはありませんか。今の法律では、投票所に足を運んで投票をしなければならないという決まりごとがあります。そのため、投票をしたくても、天気や体調、投票所までの移動手段など、さまざまな理由で投票に行けないという人が少なくありません。若い人の投票率が低いとよく言われますが、実は80歳代の投票率も、そういった理由で低くなっているんです。それを解決するのが、「インターネット投票」です。

インターネット投票が何の役に立つの?

投票所の場所や生活スタイルに関わらず、スマートフォンなどから、どこでも気軽に投票できるのがメリットです。実はすでに、2021年に並木中等教育学校や茗溪学園の生徒会選挙で、この仕組みを使っていただいています。もちろん今の法律では公職選挙で使うことはできませんが、その壁を超えて使えるようになれば、より多くの人が投票しやすくなります。これにより、幅広い人の意見を政治に反映しやすくなり、政治への関心を高めることにもつながっていくでしょう。また、開票にかかる手間やコストも大幅に減らすことができます。インターネット投票のメリットはとても大きいんですよ。

これらが実現する日が楽しみだけど、今すぐに生活に役立つものはないの?

もちろんあります!4月11日に「つくスマ」というスマートフォン向けアプリの配信を始めました。このアプリを使えば、つくば市からのさまざまなお知らせをいつでもどこでも受け取ることができます。しかも、日本語・英語・中国語・韓国語の表示が選択でき、外国の方にも使いやすくなっています。今後は、このお知らせ機能に加え、「つくばスーパーサイエンスシティ構想」のさまざまな先端的サービスを利用できるアプリとして機能を増やしていく予定です。皆さん、ぜひダウンロードしてくださいね!



つくばスマートシティアプリ 「つくスマ」配信中!

「パッと見られて」「すぐ気づく」「欲しい情報を受け取れる」

つくスマに関する
詳細や最新情報



市内在住・在勤・在学の方につくば市からの各種情報を提供するスマートフォン向けアプリです。お住まいの地区や年代、家族構成、受け取りたい情報の種類などを登録(任意)すると、その設定内容に応じた情報が自動的に配信されるほか、各種行政手続きや地図情報などを簡単に探すことができます。また、多くの国・地域の方が暮らすつくば市の特性を踏まえ、多言語表示にも対応しています。初めてアプリを使う方、SNSを使わない方にも安心してご利用いただけます。今後、さらに機能を充実させていきます。

アプリのダウンロードはこちら
App StoreまたはGoogle Playで「つくスマ」
を検索、もしくはQRコードから



皆さんのさまざまな困りごとを『つくばスーパーサイエンスシティ構想』で解決します

高齢者

移動手段が少なく、通院や買い物が大変…

近くに病院が少なく、気軽に相談できない…

子育て世帯

忙しくて子どもの予防接種の日を忘れがち…

子連れだと買い物や公園に行くのも大変…

学生(大学生など)

勉強しながら社会貢献するにはどうすれば…

駅・大学・研究機関間の移動が大変…

外国人

日本語が苦手な必要な情報が手に入らない…

土地勘がなく、災害時に避難所に行けるか心配…

『医療MaaS』…病院までの移動や受け付け、支払いが簡単に。
『移動スーパーの高度化』…移動スーパーの位置がスマートフォンで分かる。その場所まで自動運転車で移動。
『遠隔医療の高度化』…自宅からオンラインで医師に相談。ドローンによる薬の自動配送も。

『お知らせの自動配信』…「つくスマ」で子どもの年齢に応じた情報を自動配信。
『子どもMaaS』…主要な公園まで、低速自動運転車で移動を支援。
『ドローンなどによる買い物の利便性向上』…大型スーパーなどから、24時間いつでも素早く配送。

『スマートキャンパス』…先端的サービスの実証や実装を行い、得られた成果を筑波大学キャンパス、つくば市内で相互に展開。
『自動運転循環バス』…駅・学校・研究機関の間を自動運転循環バスで移動。

『多言語ポータルアプリ』…多言語対応の「つくスマ」で情報を迅速に入手。
『避難所・被災状況の可視化』…避難状況、災害状況などを「つくスマ」で表示。